

Q

求道者にどんな本を勧める？

求道者にお勧めの入門書を教えてください。(50代・女性)

Q+A

教会
質問箱

A

山元 眞

(行橋カトリック教会
司祭)

「この一冊」といったものはないと思います。

キリスト教についての理解を深めるための書物は山ほどあるでしょう。

しかし、大切なことが一つあります。それは誰

が、どのような視点からその本を書いているかというところを見極めることです。著者についてはまだご存知でないことが多いと思いますが、出版社を見て本を選ぶというこ

とです。いわゆるキリスト書店やキリスト教の出版社から出ている本であれば間違いはないでしょう。キリスト新聞やカトリック新聞の広告に出ている出版社などはひとつの目安になります。

一般のメジャーな出版社から出されている『〇時間わかる聖書』『聖書雑学〇〇』といったよう

なハウツーものの本は、

取っつきやすい反面、必ずしも専門の方が書いた編集したりしているわけではないので、根本的な理解が欠けている場合が少なくありません。

また、興味本位のタイトルで出版される本もあります。『ダ・ビンチ・コード』や『イエスの仮説』『イエスのミステリー』など、出版された時

するのでもいいでしょう。またラジオやCDを聞いたり、ビデオを見るのも役に立つと思います。キリスト教放送局FEBCHは毎夜全国放送をしています。同局のインターネット放送も毎日更新されています。キリスト教出版社からいい雑誌もたくさん出ています。それを読むのもいいと思います。

「求道者」が洗礼に導かれるまで、人だけではなく、さまざまな出版物との出会いもあるでしょう。牧師や神父によって求道者の指導方法は異なります。わたしとしては、それぞれの求道者の方が誕生からのご自分の人生をじっくり振り返るのが一番いい洗礼の準備になる

と考えています。